

令和2年3月15日

軽井沢町議会
議長 佐藤敏明様

遠山隆雄

研修報告書

1 研修日時・場所

令和2年2月1日(土) 14:00~16:30

TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター会議室
(東京都中央区八重洲1-2-16TGビル)

2 講師

・君島 雄一郎 氏

元逗子市市会議員で議員在任中に議会改革を積極的に主導し議会基本条例等を制定する一方で、ICT化を推進し、全国で初となる「オールタブレット&クラウド議会」を実現し第8回マニフェスト対象を受賞する。

議員は2機で引退し、郷里の奈良で「株ICT推進部会」を起業。専ら地方自治体向けにICT機器による業務改革の提案や講演活動を行っている。

3 研修内容

ICTで変わる議会改革

タブレットの導入の効果と議員活動 14:00~16:30

議会活動で、タブレット端末を利用している議会は**328議会** (2019・12月)

・A社製ペーパーレス会議システム導入	220団体
・B社製ペーパーレス会議システム導入	40団体
・C社製ペーパーレス会議システム導入	5団体
・その他ペーパーレス会議システム導入	3団体
・タブレット端末持ち込み許可議会導入	60団体

※タブレット端末導入のきっかけ

- ・タブレット端末の画面が大型化
- ・タブレット端末の周辺機器が進化・・・専用の電子ペンや一体型キーボード
- ・労働環境の変化 議会BCP (災害時の対応)
働き方改革 (都道府県が実験中)
- ・議会、議員活動に役立つアプリの増加

※紙が必要という先輩議員との調整の仕方

- ・ 目的は、「ペーパーレス化」ではなく「データベース化」
- ・ タブレット端末を利用することで「議会活動の幅」が広がる。
執行部側も利用することで実施計画等資料の説明ができる。
- ・ 先進自治体の事例を引用する。
- ・ 意外なところにある「やる気スイッチ」 孫に尊敬された

先進事例の紹介と課題

・ 議会先行事例

安城市議会

導入時期	2016年2月
導入端末	iPadpro12.9インチ
通信方式	LTE
議員負担	通信費を折半
その他	安城市議会ICT推進計画を作成 3年間にわたり時系列で取り組んだ

・ 行政先行事例

熊本市

導入時期	2016年7月
導入端末	iPad（種別様々）500台
通信方式	LTE
議会動向	iPadAir2（2018年6月）
その他	熊本地震の災害対策本部が導入を契機 資料の差替えが簡単にできた 市長報告からペーパーレス化が進んだ

・ 議会・行政同時導入事例

品川区

導入時期	2017年11月
導入端末	iPadpro12.9インチ(議会)50台 Windowsタブレット(行政)100台
通信方式	LTE(議会)／Wi-Fi(行政)
議員負担	全額公費
その他	議会主導で同時導入が実現した 予算内訳書(4～5cm)議会に一冊のみ配布 内訳の質問がなくなった

課題について

- ・ リーダーの有無がペーパーレス化進展を左右する。
有志の部会をつくり対応する。
- ・ ICTスキル差を埋めるための方策について。

安城市議会では議員が公私となり勉強会を開催している。

- ・タブレット端末を導入した効果の検証について。
ペーパーレス化により山形県朝日町では80万枚削減@1円
資料の差替え・製本のコストが下がる。
- ・タブレット端末を導入しただけで満足している？
関東のある議会では詳しい議員の引退により中止になっている。
全員で共有しなければだめ

活用方法とタブレットの効果

- ・ICT機器を取り巻く現状

1. 会議システム

・ローカル保存

- ・タブレットのローカルに保存する。
- ・無料で運用できる。
- ・メモ保存や画面同期などが行えない。

パソコン本体（端末保存）にダウンロードするシステムは好ましくない

・ストレージサービス

- ・ファイルは、クラウドからローカルにダウンロードして利用する。
- ・条件を満たせば無料で運用できる。
- ・メモ保存が難しく画面同期などが行えない。

(1) OneDrive (マイクロソフト社)

(2) Google ドライブ (グーグル社)

(3) Dropbox (ドロップボックス) がある。

(1)(2)は法人契約を目的としているので個人対応の議会利用はだめ(3)についてはアラスカにサーバーがあり iPad との相性が良く民間の利用は高いが官公庁の利用としては不適切。

・専用システム

- ・ファイルは、クラウドにあるものを参加者全員で共有する。
- ・システムの利用は有料である。
- ・メモ保存、画面同期、検索など会議の利便性が向上する。

(1) SideBooks (東京インタープレイ (株))

(2) moreNote (富士ソフト)

(3) スマートセッション (日立システムズ (株))

があり、この専用のシステムが必要。

2. メール&チャットシステム

- ・LINEWORKS
- ・WowTalk

- ・チャットワークがある。

3. カレンダーソフト

- ・Google カレンダー(無料)
- ・ジョルテ(無料)
- ・ios 標準カレンダー(無料)

などがあり、Google カレンダーは自治体として鳥羽市が最初に導入し共有している自治体が多い。

4. グループウェア

- ・Office365(Microsoft 社) 法人向け
- ・GSuite(Google 社)
- ・サイボウズ(サイボウズ(株)) 有料

・議会・議員活動での活用・効果

- ・本会議一般質問などにデーターを利用
- ・委員会審査において総合計画・予算書・議案書
- ・議会報告会で実施計画・実施設計など直ちに利用
- ・陳情相談などで要項やガイドラインを提示

◎考察

この研修会には山形県朝日町(4名)・長崎県時津町(1名)・栃木県野木町(1名)からの7名が参加した。

研修が始まるまでに時間があつたので朝日町の副議長と話す機会があつた。

朝日町では2018年8月から議会・行政同時にタブレットが導入されペーパーレス化を進めている。タブレットの導入をしたものの高齢者はなかなかついて来られないので今日は高齢者を1人誘い研修にきた、タブレットに興味を持ち自分のものにするという気持ちがなければだめとの発言が印象的だった。

議会改革の本質とは何か?タブレットの導入は、目的ではなく手段であるはずとの言葉が印象に残った。

今後、議会におけるICT化は時代の流れであると考え。しかし、このタブレットの導入は議会・行政相互の理解のもと同時に導入し、よりよい活用方法を模索していくべきだ。

従来は独自性を強調することにより無駄な経費をかけるような事業もあるが、現在は多くの利用者が利用しているパッケージ化されたシステムを導入すべきと考える。

タブレットを使った電子採決システムの動画を視聴し、導入経費(36万円)がわずかでできることも分かった。

今後、新庁舎建築に際し議会でもいろいろ議論されていくものと考えがあらゆる情報を共有し議論していった。